

English follows Japanese

2019/7/4



岩大さっくら通信 vol.3

編集室:岩手大学学務部国際課



岩大さっくら通信とは、卒業生のみなさんに岩手大学の今の様子や、これから開催する卒業生向けのイベント情報等をお知らせするメールマガジンです。

Gandai's Sakkora News is an email newsletter made for Iwate Alumni to let you know about events directed towards you, as well as the state of affairs here at Iwate University.

今回の目次

1. 外国人留学生 OG・OB との懇談会開催報告
2. 各支部活動報告
3. 卒業留学生の声～「しばらくですね」～
4. 今後のイベント情報
5. ミニコラム(着物体験について)
6. その他

Table of Contents:

1. International Student Alumni Conference Report
2. Report from Each Branch
3. The Voice of International Graduates "It's been a while, hasn't it!"
4. Future Events
5. Mini-Column (about the Kimono Experience)
6. Other

岩手大学留学生 OB・OG のみなさん、しばらくぶりです！岩大さっくら通信 vol.3 の発行です。

新しく連絡先をご登録いただいた皆様、誠にありがとうございました。みなさんと再びつながりを持つことができ、岩手大学国際課職員一同、大変嬉しく思っております。

長い冬が終わり、岩手にもようやく春が訪れました。

4月～5月の岩手大学のキャンパスは桜やクロッカス、チューリップ、水仙といった春の花に満ち溢れていました。

桜といえば、お花見ですね。

みなさんは日本でお花見をされたことがありますか？

岩大生のお花見定番スポットといえば・・・「高松の池」ですよ(*^^)v 今でも沢山の

岩大生がお花見に訪れています。

ちなみに、花より団子の筆者ですが、団子は「桜餅」より「うぐいす餅」が好きです。

うぐいすの姿のようなコロンとした可愛らしい形、そして包まれたあんこが

大好きです。みなさんもぜひ機会があれば、ご賞味ください。

5月といえば日本では「ゴールデンウィーク」ですが今年なんと10連休でした。

国際課でも、海外旅行に行く方、引きこもって部屋の大掃除という方、登山に行く方・・・とみなさんそれぞれ楽しまれていました。

私も義弟の結婚式に参加しました。結婚式では、久しぶりに「着物」を着ました。暑くもなく、寒くもなく、春は着物にもぴったりの季節だなと感じました。

さてさて、秋から春にかけても様々な同窓会活動に進展がありました。

この場でみなさんに共有したいと思います。今回もぜひ最後までお楽しみいただければ幸いです！

【1. 外国人留学生 OG・OB との懇談会開催報告】

☆外国人留学生 OG・OB との懇談会 in 上海を開催しました！

復旦大学叢培紅教授(工学研究科 2002 年修了・博士)と本学国際課の企画により、復旦大学復宣酒店にて上海及び浙江省、江蘇省など長三角地域の卒業生とその家族、上海岩手県人会メンバー、岩手大学関係者ら総勢 45 名が集まって交流懇談会を行いました。

懇談会は上海理工大学毛偉先生(教育学研究科 2010 年・修士)の司会からスタートし、岩渕学長の挨拶、ガンダイニングの視聴(三回分)、参加者による自己紹介・近況報告、グローバルフェロー授与式が行われ、会場は友人や先輩、後輩、先生方との久しぶりの再会で賑わいました。

懇談会では叢培紅教授から同窓会支部の提案があり、寧波大学楊建華副主任(人文社会科学研究科 2001 年・修士)を会長とした、「長三角支部」の設立について、参加者から賛同を得ました。今後、正式に届出を出す予定です。

◎懇談会の模様をまとめた動画もございます。視聴可能な方は、ぜひ岩手大学国際交流の YouTube チャンネルからご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=wq0glJeAkIM&t=9s>

☆外国人留学生 OG・OB との懇談会 in マレーシアを開催しました！

2018 年 12 月 2 日、上村岩手大学副学長、山根国際課主任等がマレーシアを訪問し、クアラルンプール市内ホテルにて卒業留学生 5 名と懇談会を行いました。懇談会で

は、外国人留学生同窓会マレーシア支部設立に向けて話し合いを行いました。
懇談会参加者は、日系企業に勤務したり、日本語講師であったり、卒業後も日本と関
りがある人が多く参加されていました。懇談会は、マレーシア支部設立に関する話題
の他にも岩手大学や日本での思い出を語る等、和やかな雰囲気で行われました。

【2. 各支部活動報告】

各支部にて積極的な活動が行なわれています。

同窓生の主催により、東京、盛岡にて同窓生の懇親会が開催されました。

このうち、盛岡の懇親会には岩手大学の上村副学長や国際課長もお招きいただき、
楽しい時間を過ごさせていただきました。

活動の様子の報告や今後の開催予定など、こちらのさっくら通信での配信を希望さ
れる場合は、ぜひご相談ください！

【3. 卒業留学生の声～「しばらくですね」～】

岩手大学での留学生活

—青春の記憶 永遠の愛恋

叢 培紅（岩手大学工学部 応用分子化学科 物質工学博士後期課程 2002 年 3
月 修了、1997.10-2005.05 岩手大学 滞在、現在：中国 復旦大学高分子科学系
教授）

岩手大学創立 70 周年に際して、心からお祝い申し上げます。そして、更なる飛躍を期
待しております。

2019 年 3 月 9 日、上海に所在している復旦大学の燕園ホテルで岩手大学外国人留
学生 OB・OG 等との懇談会を行いました。岩手大学グローバルフェローとして選ばれ
て、その場でグローバルフェローの授与式も行いました。私の博士論文の審査委員で、
現在岩手大学学長である岩淵先生と、ならびに留学時代のお友達との再会、とつても
嬉しかったです。小岩井農場の緑滴る自然、高松池の白鳥、校内の美しい桜、真剣
に研究をご指導下さった先生方の姿、目の前に浮かび上がってきます。盛岡は私の
第二故郷であり、岩手大学は私の母校でもあり、夢で何度も見ており、「ありがとうご
ざいます」と一言、言いたいと思います。

1997 年 10 月に、若かった私は、憧れと夢を抱いて日本に渡り、岩手大学大学院研究
生として応用分子化学科・森(誠)研究室に入り、岩大の一員となりました。それから、
博士後期課程を修了し、JSPS 研究員として森(誠)研でさらなる研究を進めていました。
そして、2005 年 5 月から私は中国の復旦大学高分子科学科に勤めています。恩師の
森誠之先生からお教え頂いた研究の面白さや人生の楽しさを学生たちに教えていま

す。または、「聚合物分子工程国家重点实验室」の副主任として、国からのプロジェクトを推進しております。

応用分子化学科には 8 年間も通っていました。この文章を書くにあたり、応用分子化学科の四階建て、中庭のお花、地域連携センターの TOF-SIMS や XPS などの先端装置、それに、一緒に笑って、悩んでいた周りの方々の顔が頭の中を駆け巡りました。いろいろな気持ちが交錯して印象に残ることをお話しします。

平成 9 年 10 月 29 日、日本語というか、日本すらまったく分からない私は、期待と不安を胸にいだきながら新幹線で盛岡に着きました。配属されたのはトライボロジーを研究する森(誠)研でした。初めての三ヶ月は、研究室の皆様との交流や実験ができなく、緊張して体重が 5 キロも増えてしまいました。ある日のこと、同じ研究グループの猪狩さんが、「あした、サンプルを作ってくださいよ。」と声をかけてくれました。翌朝の 7 時ごろ、私のためにまじめに LB 膜を作っている猪狩さんの姿をみて感動しました。それから、実験のやり方や装置の使い方など、周りの皆様から教えて頂き、徐々に研究が順調になりました。大学院生の高橋美喜さんは何日もかけて、私にして初めての日本語での雑誌会資料を一字一句直して下さいまして、感謝の気持ちでいっぱいです。

森研究室の皆様の中、一番印象深いのは研究補助員の北條さんです。何も分からない私に丁寧にいろいろなことを教えて下さいました。毎年の発表会前のおいしい煮物、お花見会の栗ご飯、お芋煮会のお湯の香り、いまでも目の前のように記憶に残っています。家族から離れてしまった私にお母さんの温もりを下さいました。悩みのあるとき、いつも北條さんに話しました。彼女の笑顔で、悩みは少しずつなくなりました。

2001 年の年末に、来年博士課程修了予定の私は、それからの進路を悩んでいました。森先生と相談して JSPS 研究員を申請することを決めました。大学院研究生から JSPS 研究員までの 8 年間、本当に長い間森先生にお世話になりました。それほど優等生ではなかった私は、森先生に「ツォンさんなら、できますよ」といつも激励のことばをいただき、自信を持ちました。先生のおかげで、帰国するまでに国際誌にて原著論文を 10 報以上発表しました。博士課程を修了する前、子供ができたということが分かり、うれしい反面不安もいっぱいありました。研究のこと、こどもの面倒をみること、そして未来のことなど、森先生に話すと、「おめでとう、私はサポートします。」との一言で、私は安心になりました。

帰国してから 14 年もたちました。この間、研究や生活に関する悩みがあるとき、いつも森先生にメールでお話しています。恩師の森先生からの助言や激励の言葉は、おびただしい栄養ドリンクのように、今でもよく飲んでいきます。

記憶に残る岩手大学でのことは数えきれません。真面目な技官方、優しい国際課の先生方、厳しくて面白い先生方……、そして、春のお花見、夏の野球大会、秋のお芋

煮会、冬の忘年会、大学祭、花火大会……安比高原や阿寒湖、東芝や資生堂などの留学生研修旅行、岩手公園に揺れている夜桜や紅葉……

岩手大学での留学生生活は、私の仕事と生活に大変役立っています。母校への感謝の気持ちを持ち、今を大切に一日一日を過ごして生きていきたいです。またいつかお目にかかれることを楽しみにしております。

岩手大学国際交流 HP にも記事を掲載しています。(写真付き)どうぞご覧ください。

<https://www.iwate-u.ac.jp/iuic/>

【4. 今後のイベント情報】

☆「岩手大学外国人留学生同窓会設立式典&懇談会」について

岩手大学は、今年創立70周年を迎えました。これを記念して、11月に岩手大学創立70周年記念イベント「国際シンポジウム」を開催する予定ですが、その中で「岩手大学外国人留学生同窓会設立式典&懇談会」の開催を計画しています。

日程は、【11月14日(木)の午後】に決まりました。(*^-^*)

今後、詳細について決まりましたらお知らせします。

ぜひこの時期に岩手・盛岡へお越しいただくことを計画いただければと思います。

皆さんと再会できることを楽しみにしています。

イーハトーブ基金の『岩手大学創立 70 周年記念事業募金』の受付もひきつづき行っております。

❁イーハトーブ基金の紹介

岩手大学イーハトーブ基金は、大学全体の教育研究や学生支援を幅広く展開することを目的とした「一般基金」と、東日本大震災により被害に遭った学生たちへの修学支援など、用途を特定した「特定基金」で構成され、現在、企業・団体や個人の皆様など多くの方々にご支援をいただいております。

本学が目指す大学像実現のために創設いたしました「岩手大学イーハトーブ基金」の趣旨をご理解いただき、卒業生、ご父母、教職員、そして本学に関係する多くの皆様方のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

岩手大学イーハトーブ基金 HP:

<https://www.iwate-u.ac.jp/ihatovkikin/>

【5. ミニコラム(着物体験について)】

【5. Mini-Column (about the Kimono Experience)】

岩手大学では、留学生に年に2回、着物を体験してもらう機会を設けています。はじめての着物の着心地はどうだったのでしょうか？鄭婕さん(岩手大学への交換留学生として2019年3月まで在籍)が紹介します。

～～はじめての着物体験～～

「振袖」は私にとって深いイメージが二つ残っている。一つは美しい限りだということ。もう一つは値段が非常に高いということである。「浴衣」は着たことがあるけど、「振袖」を着ることは今まで夢の中でもない。今回、「着物体験」というイベントのおかげでようやく「振袖」を体験した。

私たち留学生のため着物の先生たちがわざわざ遠いところから岩手大学にいらっしゃった。きれいな着物をたくさん持ってきた。それぞれの柄が違い、帯を含めて百万円に近い！

着物の先生が未完成の着物を一つ持っていらっしゃった。私たちに着物の特徴を紹介した。そして、綺麗なカレンダーもプレゼントとして私たちにくれた。

みんなそれぞれ自分が好きな着物を選んで、先生たちが私たちに着物を着せてあげて、複雑な帯も作った。お腹がちょっと苦しいけど、鏡の中で立派な姿を見て、すべての苦しさが飛び去った。着物を着せてもらうのは短い時間だった。脱いだ瞬間は「解放した」と感じた。その後の気持ちは名残惜しいということ。これを買ってそのまま着て帰りたくなった。

しかし、高すぎだから、いくら好きでも貧乏人の私は手が出ない...

【6. その他】

☆岩手大学国際交流のホームページがリニューアル

2019年4月からホームページをリニューアルしました。「スマホ」にも対応しています。日本語、中国語、韓国語、英語版全てリニューアルしていますので、ぜひご覧ください！

<https://www.iwate-u.ac.jp/iuic/>

最後まで読んでいただきありがとうございました。

次回をお楽しみに！

岩手大学国際交流卒業留学生のページ

<https://www.iwate-u.ac.jp/iuic/alumni/index.html>

◆English◆

Iwate University International Alumni, it has been quite a while! This is the Gandai Sakkora Newsletter, Volume 3!

Our deepest thanks to all the new subscribers of this newsletter. Being able to keep in touch with all of you makes all of us in the International Office very happy, so again, thank you!

With the long winter at an end, spring has finally decided to come to Iwate.

Campus was overflowing with spring flowers, such as Cherry blossoms, Crocus, Tulips, and Daffodils.

Speaking of Cherry blossoms, Hanami!

Has everyone had the chance to attend a Hanami in Japan?

The go-to spot for Iwate University students would have to be... Takamatsu Pond of course! Even now, plenty of Iwate University students are still going on Hanami with their friends.

By the way, as someone who looks forward to Dango rather than Cherry Blossoms, I like Uguisumochi more than Sakuramochi. I just like it so much! The way it looks like a chubby little Japanese bush warbler, which are already cute by themselves, and the delicious red bean paste wrapped up inside suit my tastes perfectly. If any of you have the chance, please give it a try!

As for May, Japan had “Golden Week”, which this year was 10 back to back holidays. Even in the International Office, everyone had plans, from travelling overseas, to mountain climbing excursions, to staying indoors and finally getting around to the much needed spring cleaning.

I attended my brother-in-law’s wedding, and wore a kimono again for the first time in a while. Personally, I think spring is the perfect season for wearing kimono; it isn’t too hot or too cold.

Anyways, we have made a lot of progress on the Graduate Association Activities over the fall to spring period.

We want to share that with you here, so please enjoy!

【1. International Student Alumni Conference Report】

☆The International Student Alumni Conference was held in Shanghai!

From a joint project between Ph.D. Professor Cong Peihong of Fudan University (PhD in Engineering, 2002) and the International Office of Iwate University, a total of 45 people,

including Graduates from schools in Shanghai, as well as Zhejiang and Jiangsu Provinces, plus their families gathered with members of the Shanghai-Iwate Society and Iwate University officials at the Fudan University Fuxuan Hotel to participate in a round table event.

The round table started with opening remarks from Professor and Chairman Mao Wei (Masters in Education, 2010), followed by Iwate University President Iwabuchi's introduction, viewing some editions of "Gan-Dining", self-introductions and progress reports from participants, and the Global Fellow award ceremony. The event was full of people finally reuniting with old friends, teachers, and mentors.

At the reception, Professor Cong Peihong gave his proposal for an Alumni Branch, and Ningbo University Deputy Chairman Yang Jianhua (Masters in Humanities and Social Sciences, 2001) gained the endorsement of fellow participants toward founding a "Chang San Jiao Branch". An official report of the event will be released at a later date.

*We have uploaded a summary video of the event. If possible, please give the video a watch at our official YouTube channel here:

<https://www.youtube.com/watch?v=wq0glJeAkIM&t=9s>

☆International Student Alumni Conference in Malaysia!

On December 2nd, 2018, Iwate University Vice President Uemura, International Office Chief Yamane, and others visited a hotel in the city of Kuala Lumpur, Malaysia, to gather with 5 Iwate University Alumni. At the event, they discussed the idea of founding a Malaysia Branch of the International Alumni Association.

Of the participants of the event, many are working in positions related to Japan, such as Japanese teachers, or as part of Japanese companies operating in Malaysia. Apart from discussing about the Malaysia Branch, the event had a very friendly atmosphere, with lots of reminiscing about their time in Japan and at Iwate University.

【2. Report From Each Branch】

In all the various branches, a lot of positive action projects are being carried out. Organized by fellow alumni, Class Reunion events were held in Morioka as well as Tokyo. The vice president of Iwate University, Mr. Uemura, as well as the International Department Manager attended, and everyone was able to have an enjoyable experience. If you want to hear more about plans for future events or status updates about current projects within these newsletters, please let us know!

【3. The Voice of International Graduates “It’s been a while, hasn’t it!”】

Life as an International Student at Iwate University

—Memories of Youth; Eternal Affinity—

Cóng Péihóng

Iwate University Faculty of Engineering, Department of Molecular Chemistry

Doctorate in Material Engineering

Completed in Mar. 2002

Attended Iwate University from Oct. 1997 to May. 2005

Currently: Professor of Polymer Science at Fudan University in China

From the bottom of my heart, I would like to congratulate Iwate University and the wonderful faculty who work there on their 70th anniversary. I am looking forward to the next 70 years of progress from Iwate University.

On March 9th, 2019, a round-table conference for Iwate University International Exchange Graduates was held at the Yanyuan Hotel at Fudan University, located in Shanghai. I was selected as an Iwate University Global Fellow, and I accepted a Global Fellow award at the event. I was very happy to see a member of the committee that reviewed my doctoral dissertation, Professor Iwabuchi, who is the current president of Iwate University. I was also able to reunite with friends that I had made during my time as an exchange student. In that moment, the green pastures of Koiwai Farms, the swans of Takamatsu Pond, the beautiful Cherry Blossom trees on campus, and the faces of the teachers who earnestly supported me through my research rushed into my mind. I consider Morioka my second “home town”, and Iwate University as my alma mater. I have seen Morioka and Iwate University so many times I have lost count; briefly, all I want to say is “thank you”.

In October of 1997, my younger self wandered into Japan, of which I had long held in adoration, and entered the Applied Molecular Chemistry Department, and became a member of Iwate University. I was a graduate student, working in the Mori (Shigeyuki) laboratory. From there, I completed my Doctoral program, and continued working on projects as a JSPS researcher.

Then, in May of 2005, I began working at Fudan University in China as part of the Department of Polymer Science. I was given the incredible opportunity to teach my students about the fun of research and the joys of life, the same way Dr. Mori had taught me. In addition, I promote projects as the deputy director of the “National Key Laboratory of Polymer Engineering and Molecular Processing”.

I have been working in Applied Molecular Chemistry for over 8 years. As I write this, the 4-story Applied Molecular Chemistry Department building, the flowers in the courtyard, the advanced equipment in the regional joint research center, and the faces of my dear colleagues, who I am honored to have laughed and worried together with over the years, spin around in my head. I want to talk about how these various feelings have meshed together to leave a lasting impression within me.

On October 29th, 1997, I knew very little about Japan, even less about Japanese, and with anticipation and anxiety constricting my chest, I arrived in Morioka aboard the Shinkansen. I was assigned to study tribology at the Mori (Shigeyuki) Lab. In the first 3 months, I was unable to perform experiments, or even interact with anyone in the laboratory; I was nervous, and ended up gaining 5 kilograms. One day, one of my group members, Mr. Ikari, said, "I will make the sample for you tomorrow!" At about 7am the next morning, I was absolutely moved to see him making LB membranes for me. From then on, my research gradually grew easier; my colleagues would teach me experiment procedures and how to use different lab equipment. One person I cannot thank enough is Miki Takahashi, another graduate student, who took many days out of their busy life to revise my very first journal article in Japanese, word by word.

Among all the members of Mori Laboratory, the person who left the strongest impact within me has to be research assistant Ms. Hojo. She caringly and politely explained things to me when I completely didn't understand. I can still remember the all the years of delicious stew we would eat before our conferences, the taste of the chestnut rice we brought to our Hanami picnics, or the smell of the stews at our cookouts, as if they all happened yesterday. She provided a motherly warmth for me, who was separated from their family. Whenever I had problems, Ms. Hojo was always there to listen. By seeing her wonderful, smiling face, my problems, little by little, would disappear.

At the end of 2001, I was worrying about what I was to do after finishing my Doctorate. After discussing it with Prof. Mori, I decided to apply to become a JSPS researcher. For 8 years, from graduate student to JSPS researcher, I am truly indebted to Prof. Mori for working with me for such a long time. I was not much of an honor student, but Prof. Mori would always encourage me by saying things like "Cóng, you can do it", which gave me confidence in myself. Thanks to Prof. Mori, I published over 10 papers in international journals before I returned to China. Before I finished my doctoral program, I was both elated and anxious to find out that I was going to have a child. I talked with Prof. Mori about my research, my child, and my future; I felt peace of mind when he said to me, "Congratulations, I'll support you".

It has been 14 years since I have returned to China. Now, if I have any problems in my

life or with my research, I always talk to Prof. Mori through e-mail. I frequently seek and take in the advice from my former teacher, Prof. Mori, like a daily multivitamin.

I cannot count the memories I have of Iwate University. The hard working technicians, the nice international teachers, the strict, yet interesting teachers..., the cherry blossom viewings, the summer baseball tournament, the fall cookout, the new year's party, the university festival, the firework display..., Appi Plateau and Lake Akan, the field trips to Toshiba and Shiseido, Iwate Park, with cherry blossom trees illuminated at night, or with fall colors that sway about in the wind...

Studying at Iwate University was and has been very important to me, both for my career and for my life. I am very grateful for my Alma Mater, and I want to live life day by day, and treasure what I have now. I look forward to the day when I can see you again.

This has also been published on the Iwate University International Exchange homepage. Please take a look (pictures available)

<https://www.iwate-u.ac.jp/iuic/>

【4. Future Events】

About the “Iwate University International Student Graduates Association Opening Ceremony & Reception”

This year marks the 70th anniversary of the founding of Iwate University. For this occasion, we plan to hold a celebratory event titled “The International Symposium” in November in Morioka. At this event, we also plan to hold the “Iwate University International Student Graduates Association Opening Ceremony and Reception”. This will happen on November 14th, Thursday afternoon. (*^_^*)

When the specifics are decided on, we will let everyone know.

If possible, please consider visiting Morioka for this occasion. We look forward to reconnecting with everyone.

This event is funded by continued support from the Ihatov Foundation through the “Iwate University 70th anniversary Project Fund”.

❁ * * * * *

Iwate University Ihatov Foundation is a general foundation that aims to widely expand the whole university's educational research and student support, and to help the education of the students who were affected from the East Japan great earthquake. The way that this fund is organized is receiving support from many people from companies, organizations, and individuals.

To all alumni, parents, faculty, and also anyone affiliated with our school who has given us support, we would like to thank you from the bottom of our hearts for understanding our goal establishing this image towards our university.

Iwate University Ihatov Foundation HP:

<https://www.iwate-u.ac.jp/ihatovkikin/>

* * * * *

【5. Mini-Column (the Kimono Experience)】

At Iwate University, we have hold opportunities for International Students to experience wearing Kimono 2 times a year. How did it feel for you the first time you wore Kimono? Zheng Jie (Enrolled as an International Student at Iwate University to March, 2019), will explain.

To me, “Furisode” has left me with two strong impressions. The first is that they are extremely beautiful. The second is that they are extremely expensive. I have worn “Yukata” before, however wearing “Furisode” has only been something I could do in my dreams. Thanks to the Kimono Experience event, I was finally able to personally experience wearing “Furisode”.

The Kimono instructors graciously came from far away to Iwate University to provide us with this experience. They brought many, very beautiful Kimono with them. Each of the patterns were different, and with the price of the belt included, came close to 1,000,000 yen!

One Kimono instructor brought an unfinished Kimono with them, and she showed us the different Kimono characteristics. She then gave us beautiful calendar to us as a gift.

Everyone chose the Kimono they liked the most, and the instructors helped us put them on, and properly affix the belt. It was a little tight around my stomach, however when I looked in the mirror and saw how elegant it looked, that tight feeling completely disappeared. The time I had to wear the Kimono was short. The second I took it off I felt released. After that, my feelings turned to reluctance to part with the Kimono I had worn. I wanted to buy the Kimono right then, and wear it home.

However, because it was so expensive, no matter how much I liked it, it was still going to be beyond the reach of my poor person hands...

【6. Other】

☆The Iwate University International Exchange Homepage Renewal

In April of 2019, we made improvements to our homepage. The site now supports viewing

on smartphones.

We are also renewing the Japanese, Chinese, Korean, and English language versions of the site, so please take a look!

<https://www.iwate-u.ac.jp/iuic/>

Thank you for reading to the very end!

Look forward to the next one!

Iwate University International Office Alumni International Student Page

http://iuic.iwate-u.ac.jp/english/14_soturyu/index.html